

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道 448号 船間道路	事業区分	一般国道	事業主体	鹿児島県						
起終点	自：鹿児島県肝属郡内之浦町舟木 至：鹿児島県肝属郡内之浦町平木場	延長	7.3 km								
事業概要	国道448号は、鹿児島県指宿市から宮崎県宮崎市に至る幹線道路であり、沿線市町の連携強化を図る重要な路線である。 船間道路は、国道448号の安全で円滑な交通の確保、災害時の緊急輸送路の確保とともに、広域交流の促進及び地域の活性化に大きく寄与するものである。										
H2年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H2年度用地着手	H3年度工事着手								
全体事業費	110億円	事業進捗率	76%	供用済延長	5.9km						
計画交通量	2,100台/日										
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 3.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 49/126億円 (事業費：33/110億円) (維持管理費：17/17億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 135/135億円 (走行時間短縮便益：126/126億円) (走行費用減少便益：8/8億円) (交通事故減少便益：1/1億円)	基準年	平成16年						
事業の効果等	・物流効率化の支援 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・道路の防災対策・危機管理の充実（第2次緊急輸送道路，現道に防災点検要対策箇所が存在） 他 8項目に該当										
関係する地方公共団体等の意見	・国道448号は、緊急輸送道路に指定されているほか、地域交流の促進を果たすことが期待されており、鹿児島県をはじめとし、隣接する関係町より早期整備の要望を（平成元年）に受けている。										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・当該路線を主に利用する圏域（根占町，大根占町，田代町，内之浦町，東串良町） 人口 平成2年度（約35.4千人） 平成11年度（約31.9千人） 平成15年度（約30.5千人） 0.96倍 自動車保有台数 平成2年度（約25.6千人） 平成11年度（約29.4千人） 平成14年度（約29.4千人） 1.00倍 交通量（日当り）平成2年度（2,286台/日） 平成6年度（2,446台/日） 平成11年度（2,067台/日） 1.00倍										
事業の進捗状況、残事業の内容等	・平成16年度までに5.9kmを供用しており、残りの橋梁（2橋）も平成17年度には着手することから平成20年度には完了する。										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・区域内は急峻な山岳地形であることから、橋梁が13橋と多く、また、それぞれの架橋地点で軟弱層が確認されたため基礎杭施工を必要としたことから期間を要したが、未着手の橋梁2橋も平成17年度には着手する予定で平成20年度には完了する。										
施設の構造や工法の変更等	・急斜面に呈する橋梁下部工について、竹割り工法を用いる等コスト縮減を図っている。										
対応方針	事業継続										
対応方針決定の理由	・以上状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。										
事業概要図	<p>（起）肝属郡内之浦町平木場 至 大根占町</p> <p>一般国道448号 船間道路 L=7.27km W=6.0(8.0)m</p> <p>（終）肝属郡内之浦町舟木</p> <p>太平洋</p> <p>凡 例</p> <table border="1"> <tr> <td>■</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>					■	供用中	■	再評価箇所	■	うち供用中
■	供用中										
■	再評価箇所										
■	うち供用中										

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。